

# 芸 術

## (美術Ⅱ)

発 番 号	行 名	者 称 略 称	教科書の記号・番号	判型	ページ数	検定済年
38	光村図書出版	光村	美Ⅱ 701	A4変型	72	令和4年
116	日本文教出版	日文	美Ⅱ 702 ◆	A4	80	

※「教科書の記号・番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

# 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者及び教科書の番号

美術Ⅱ		冊数	2冊
発行者の略称・教科書の番号	光村701 日文702		

## 2 学習指導要領における教科・科目の目標等

### 【芸術の目標】

芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
- (2) 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- (3) 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

### 【美術Ⅱの目標】

美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

### 【美術Ⅱの内容及び内容の取扱い】

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
<p>A 表現 表現に関する資質・能力を次のとおり育成する。</p> <p>(1) 絵画・彫刻 絵画・彫刻に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 感じ取ったことや考えたことなどを基にした発想や構想</p> <p>(ア) 自然や自己、社会などを深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成すること。</p> <p>(イ) 主題に応じて表現形式について考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練ること。</p> <p>イ 発想や構想をしたことを基に、創造的に表す技能</p> <p>(ア) 主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すこと。</p> <p>(2) デザイン デザインに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 目的や機能などを考えた発想や構想</p> <p>(ア) 目的や条件などを基に、人と社会をつなぐデザインの働きについて考え、主題を生成すること。</p>	<p>(1) 内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導については、相互の関連を図り、特に発想や構想に関する資質・能力と鑑賞に関する資質・能力とを総合的に働かせて学習が深められるようにする。</p> <p>(2) 生徒の特性、学校や地域の実態を考慮し、内容の「A表現」については(1)、(2)又は(3)のうち一つ以上を選択して扱うことができる。また、内容の「A表現」の(1)については、絵画と彫刻のいずれかを選択したり一体的に扱ったりすることができる。</p> <p>(3) 内容の取扱いに当たっては、「美術Ⅰ」の3の(3)から(10)までと同様に取り扱うものとする。</p>

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
<p>(1) 社会におけるデザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練ること。</p> <p>イ 発想や構想をしたことを基に、創造的に表す技能</p> <p>(ア) 主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すこと。</p> <p>(3) 映像メディア表現</p> <p>映像メディア表現に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 映像メディアの特性を踏まえた発想や構想</p> <p>(ア) 自然や自己、人と社会とのつながりなどを深く見詰め、映像メディアの特性を生かして主題を生成すること。</p> <p>(イ) 映像表現の視覚的な要素などの効果的な生かし方について考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練ること。</p> <p>イ 発想や構想をしたことを基に、創造的に表す技能</p> <p>(ア) 主題に合った表現方法を創意工夫し個性豊かで創造的に表すこと。</p> <p>B 鑑賞</p> <p>鑑賞に関する資質・能力を次のとおり育成する。</p> <p>(1) 鑑賞</p> <p>鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 美術作品などの見方や感じ方を深める鑑賞</p> <p>(ア) 造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めること。</p> <p>(イ) 目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めること。</p> <p>イ 生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める鑑賞</p> <p>(ア) 環境の中に見られる造形的なよさや美しさを感じ取り、心豊かな生き方の創造に関わる美術の働きについて考え、見方や感じ方を深めること。</p> <p>(イ) 日本及び諸外国の美術作品や文化遺産などから表現の独自性などを感じ取り、時代、民族、風土、宗教などによる表現の相違点や共通点などから美術文化について考え、見方や感じ方を深めること。</p>	

### 3 教科書の調査研究

#### (1) 内容

##### ア 調査研究の総括表

調 査 項 目	対象の根拠（目標等との関連）
a 題材など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	学習指導要領第2章第7節第3款1(1)
b 表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力の育成	学習指導要領第2章第7節第2款6 3(3)
その他の項目（各教科共通）	学習指導要領、東京都教育委員会の基本方針、東京都教育ビジョン

##### イ 調査項目の具体的な内容

###### ① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

調査研究事項の a、b 及びその他との関連で、次の事項について具体的に調査研究する。

- a 題材など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)
- ・ 各題材において、どのような資質・能力を育成できるか見取る。
  - ・ 生徒の特性、学校や地域の実態を考慮する中で、(1)、(2)又は(3)のうち一つ以上を選択して扱えるようにしていることから、より発展的な学習も視野に入れながら指導する題材等を見取る。
- b 表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力の育成
- ・ 造形の要素の働きを理解することや、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解することを扱っている内容を調査する。

《その他の項目》(各教科共通)

- ・ 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫
- ・ 人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫
- ・ 安全・防災や自然災害の扱い
- ・ オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫
- ・ 固定的な性別役割分担意識に関する記述等

###### ② 調査対象事項を設定した理由等

- a 題材など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)
- 学習指導要領（総則）「第3款各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い」1(1)の中で、「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること」が言及されている。そのため、美術Ⅱでは各題材における資質・能力をどのように育成できるかという視点で質的な調査をする。

- b 表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力の育成

学習指導要領（芸術・美術Ⅱ）の中で「〔共通事項〕(1)は、今回の改訂で新しく設けた事項である。ア及びイの各指導事項は、「A表現」及び「B鑑賞」の学習において共通に必要な資質・能力であり、造形的な視点を豊かにするために必要な知識として位置付けている。」としている。そのため、造形を豊かに捉える多様な視点をもてるようにすることを重視しており、「A表現」、「B鑑賞」及び〔共通事項〕の指導を通して、生徒一人一人が、造形的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を高め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わることができるようになる項目・題材などについて質的に調査する。

《その他の項目》(各教科共通)

- ・ 我が国の領域をめぐる問題及び国旗・国歌の取扱いについては、学習指導要領に基づき、これらの問題を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 北朝鮮による拉致問題については、東京都教育委員会の基本方針1に基づき、人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。

- ・ 東京都教育委員会の基本方針 2・3 に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針 1 及び東京都の男女平等参画推進の施策を踏まえ、固定的な性別役割分担意識の解消や、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)」に気付いて言動等を見直していくなど、男女の平等を重んずる態度を養うことができるよう、その扱いについて調査する。

## (2) 構成上の工夫(各教科共通)

- ・ デジタルコンテンツの扱い
- ・ ユニバーサルデザインの視点

教科名	芸術
科目名	美術Ⅱ

※「教科書番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

発行者（略称）	光村
教科書番号	美Ⅱ701
教科書名	美術2
(1) 内容	
a 題材など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)	
【「表現」で感じ取ったことや考えたことなどを基にした発想や構想の題材】	・複数の題材において、参考作品についての制作工程や作者本人、時代背景の解説があり、図版や写真、参考作品が分かり易く示されるなど表現活動の理解が深まるような作品例と制作の手順や画像が設けられている。
【「表現」で目的や機能などを考えた発想や構想の題材】	・複数の題材において、参考作品についての制作工程や作者本人、表現手法についての解説があり、目的や機能を意識しながら表現活動の理解が深まるような制作の手順が設けられている。
【映像メディアの特性を踏まえ発想や構想の題材】	・複数の題材において、参考作品についての制作工程や主題の生成、編集作業についての解説があり、写真撮影の基本的知識、動画やアニメーション制作などの理解が深まるような学習内容で構成されている。
【美術作品などの見方や感じ方を深める鑑賞】	・日本と諸外国の作品について、絵画・彫刻の題材では「花・植物」「人物」などの具象主題と、「心の中の風景」の抽象主題、デザイン、映像メディア表現の題材では「椅子」などの生活空間を主題としており、包括的にイメージできる構成となっている。生徒作品も提示され、参考となる表現が設けられている。
【生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める鑑賞】	・全ての題材について、日本と諸外国の両方の様式や文化について比較できるような図版や写真、参考作品と解説、現代につながる美術の紹介があり、生活や社会における表現活動や表現方法の変遷について理解が深まるような構成となっている。
b 表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力の育成	
【造形の要素の働きを理解することについて】	・同じ主題で表現した複数の作品を鑑賞する題材により、造形的な見方・考え方を働かせるとともに感じ方の多様性を理解することについてより学びが深まるよう工夫されている。
【造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解することについて】	・「人物を描く」「祈りの場を彩る」「心の中の風景」「作家の手法」「抽象への誘い」などの題材で多様な作家や様式を取り上げ、独自の作風や様式について造形的な特徴や美しさ、表現の意図や創意工夫について理解が深まるよう、工夫されている。
《その他の項目》(各教科共通)	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・資料 学習を支える資料一覧 日本画の紹介
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	・「問題解決のためのデザイン」 災害への対応（東京防災）（避難所用の紙の間仕切りシステム）
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	・「作家の生涯と作品 亀倉雄策」 ポスターのデザイン ・「問題解決のためのデザイン 山中俊治」 陸上競技用義足のデザイン
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	・デジタル端末を活用して制作、編集、創造する学習活動の事例が取り上げられている。いくつかの頁に作家の参考作品や生徒作品など、デジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードが設けられている。
ユニバーサルデザインの工夫	・目次および各題材の見出しに●、◆の記号を用いて、表現中心の題材●と鑑賞中心の題材◆、資料を分けており、本文では各単元の見出しの主調色を分け、分かり易く読めるよう工夫されている。

教科名	芸術
科目名	美術Ⅱ

※「教科書番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

発行者（略称）	日文
教科書番号	美Ⅱ702◆
教科書名	高校生の美術 2
(1) 内容	
a 題材など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【「表現」で感じ取ったことや考えたことなどを基にした発想や構想の題材】	・全ての題材において、表現と鑑賞の両側面から解説があり、図版や写真、参考作品が分かり易く示されるなど理解が深まるような制作の手順が設けられている。複数の題材において生徒作品が掲載され、表現活動が身近に感じられる工夫がなされている。
【「表現」で目的や機能などを考えた発想や構想の題材】	・全ての題材において、表現と鑑賞の両側面から解説があり、図版や写真、参考作品が分かり易く示されるなど理解が深まるような制作の手順が設けられている。複数の題材において、学習目標や目的が示され、素材や技法について目的や機能を意識して学習が深まるよう工夫されている。
【映像メディアの特性を踏まえ発想や構想の題材】	・全ての題材において、表現と鑑賞の両側面から解説があり、図版や写真、参考作品が分かり易く示されるなど理解が深まるような制作の手順が設けられている。
【美術作品などの見方や感じ方を深める鑑賞】	・全ての鑑賞の題材において、分かりやすい解説が掲載されている。日本と諸外国の作品について、物質としての主題や、空間や線などの造形要素など、異なる主題の観点で題材を分けており、多様な視点で捉えることができる。図版や写真、参考作品が分かり易く示されるなど理解が深まるような資料を取り上げている。
【生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める鑑賞】	・複数の題材において、情報伝達や現代美術など、生活や社会における表現活動の重要性や様式ごとの表現方法の変遷が図版や写真で深く理解できるように工夫されている。
b 表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力の育成	
【造形の要素の働きを理解することについて】	・同じ主題で表現した複数の作品鑑賞により、造形的な見方や感じ方を働かせるとともに、感じ方の多様性を理解することについてより学びが深まるよう題材が設定されている。「マティスの試行錯誤」や、素描の「明暗表現」「配色とトーン」「文字の種類」「文章の組み方」などの題材により、もの見方、感じ方の造形的な法則や効果についての理解が深まるよう工夫されている。
【造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解することについて】	・「テーマを追求する」「錯覚による不思議な世界」「琳派」「作家探求」「美術史料」などの題材で多様な作家や様式を取り上げ、独自の作風や様式について理解が深まるよう、工夫されている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・「琳派 継承と創造の系譜」 ・「庭園のデザイン」 資料 日本の前衛 資料 アジアの美術 資料 金箔を使って日本画を描く
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	・資料 部活動を紹介するチラシのデザイン
安全・防災や自然災害の扱い	・「感覚に訴えるデザイン」 安全につながるデザイン
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	・資料 美術の起源
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	・複数のページに作家の参考作品や生徒作品など、デジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードが設けられている。
ユニバーサルデザインの工夫	・色相環を元に色覚特性への配慮を施したユニバーサルデザインとなっている。目次に●▲の記号を用いて、また、目次と各単元の見出しの色分けを対応させ、表現分野●と鑑賞分野▲、資料などを分け、分かり易く記すよう工夫されている。